



同窓生の皆さんはご自分にかかわりのある集まりで、さまざまな分野から、各世代にわたって、営利追求や研究あるいは趣味などの明確な目的無く、人が集う会をお持ちですか。そのような会はあまり存在しないのではないのでしょうか。

私がちょっとしたきっかけで支部会にかかわるようになってから、20年近くがたちました。その間、いつも同窓会の不思議さを感じてきました。長い人生のなかでたったの3、4年だけを過ごした旧制中学あるいは高校時代。しかし、自分のなかに遺伝子とでも言うべきもので記憶されており、それが同窓生の誰にでも共有のものとして存在しています。それゆえに、いろいろな人が安心感を持って集まることができるのではないのでしょうか。また、支部役員は全くのボランティアにもかかわらず、支部会の円滑な運営のために活動を続けているのだと思います。

さて、役員会では「若い世代の参加を促すこと」、「活動のさらなる活性をはかること」を当面の課題と考えています。若い世代は仕事のまっただなかにおいて、そんなに時間がとれるものではありませんし、同窓の遺伝子はまだ熟しておらず、年配者ほど思いは強くなっていないでしょう。しかし、どんな組織でも若返りは必要であり、動脈硬化に陥ってはなりません。

また、活動の活性化のために分科会活動をおこなっています。さまざまな分野で活躍している同窓生と交流の場を持つことができれば素晴らしいことだと思っています。

けれども、なんといっても活性化のいちばんのポイントは活発な同期会の開催でしょう。同期会開催のために役員会はどのようなお手伝いができるか、これから検討していかなければなりません。みなさまから多くのご意見をお寄せくださるようお待ちしております。そして、さらに多くのかたがたの積極的な参加をお願いします。